

# 真鶴 自治会だより

## ふれあい・思いやり・たすけあい

# あすへの自治会

私たち自治会は、会員がお互いの親睦を深め魅力ある地域づくりを目指す団体であり、それぞれの自治会は会則にその目的を明記し運営されているが、会員のすべてがそれを、理解し行動しているかというと、意外にその理解度・浸透度は低い。

① 「本会は会員相互扶助及び友愛親睦を図り明るくすまひよい地域をつくり環境の整備、福祉の向上を目的とする」

(東自治会会則より)

② 「自治会は、会員相互の親睦を図り、その運営と活動を通じて豊かな人間性の醸成や活力に満ちた魅力ある地域づくりに寄与し、会員の生活環境の向上及び自治会の発展を期することを目的とする」

(若中央自治会規則より)

③ 「本会は、会員の相互扶助ならびに福祉と文化、生活環境の向上発展を図り会員相互の理解と親睦に寄与し、もって会の発展を期することを目的とする」

(城北自治会規約より)

と書かれ、更に九つの自治会の統括団体である連合会は、「真鶴町内の自治会が相互に連絡調整を保ち町民の福祉増進、地域社会の向上を図る」ともに、町の行政事務に協力して、町政の円滑な推進に資することを目的とする」とうたっている。

以上のように、自治会は住民自身のものであり、向こう3軒両隣の人々が構成する隣組の仲間同士の組織であり、日常の挨拶や何気ない小さなお付き合いが輪を広げ、親睦が向上し、福祉の

心が培われ、環境の整備、防災防犯活動の強化で連携が強化されて、行政とともに明るく活気ある地域づくりを目指す団体である。

各自治会は目的に向かって年次事業を計画して実践をしてゆくと、事業は手段であって目的ではない。役員の中にはこの事業を往々にして目的と思いが違い、それが無事に終わるとやれやれ職務全うだと安心してしまい、会の真の目的である親睦の啓蒙や相互扶助、会員の増強活動が鈍ってしまった。そのためか真鶴町の自治会への加入率は60%を切っている。ちなみに小田原市・湯河原町の加入率は共に85%を超える。

会員の資格は、その地域に世帯を構成して生活していることが原則であって、会を脱退するには地域を離れる以外ありえない。会員は権利と義務をわきまえて、言うべきは言い、小異を捨てて大道に付く気持ちで会の運営に参画してもらいたい。役員も会員の希望をつぶさに聞き、偏りのない取りまとめをして、共に手を携えて行動しよう。

くどいようだが親睦こそ自治会活動の根幹である。このような自治会の行動は大きなパワーとなりこの小さな真鶴町が明るく活気ある町になることは必定と考えるし、そうなることを望んでいる。

高齢化と少子化が進む中、個人の権利主張が先立つと、親睦の輪がひずみ



不協和音が出る。日赤社資や社会福祉協議会の会費、共同募金等の経済的負担の回避のため、短絡的に会から脱退をしようと考える会員も一部に聞かれますが、これらの社資や寄付行為は広域の相互扶助の精神に基づく制度による寄付行為であり、何時かはわが身の救済資金でもある。一例を日赤社資にとれば、中越地震における日赤の救済活動は、われわれの拠出した資金で日赤の組織が運営されたものである。その目覚ましい救済活動で、感謝や感動が生まれたことは記憶に新しい。何時起こるかかわからない東海地震や西さがみ地震が発生したら、われわれはこれらの救済を頼むことになる。消防協力会費・社会福祉協議会会費・共同募金も全て町単位・県単位で相互扶助に供されるもので、この募集事業は自治会の大きな仕事の一つであることをご承知いただきご協力を願いたい。そして、大切な相互扶助の精神で活発な自治会活動を繰り広げたいものである。

① 目標設定(具体的言葉で)・・・自前の計画を持つ。

② 計画が夢を育み、人を育てる。

③ 意見の噴出大歓迎、上手に取りまとめよう。

④ 行政に要望するのみでなく、上手に支援を受ける。

⑤ 異世代の交流・・・子供会、老人会などを包含した活動を。

⑥ 面倒を自ら進んで・・・ボランティア精神。

⑦ 自治会からの脱退は権利主張ではなく権利放棄である。

⑧ 地域は先祖伝来の主張の積み重ね、今の時代の意見も未来へ続く

自治会連合会長 錦織 潔

## 中山道の旅で出会った人の情けの「嬉しさ、有難さ」

昨年11月17日、いよいよ木曾路にかかる塩尻宿からの旅でした。真鶴駅を上り一番電車に乗り、塩尻駅には9時29分定着した。駅で『おにぎり』を買おうと思ったが見付からず、そのまま出掛け、国道を歩きながらコンビニを探したが、周りはリンゴ園やブドウ畑だけで、仕方なくリンゴ園の奥さんに『この辺にお弁当を売っている店がありませんか』と聞くと、『この先にコンビニ店があるから、リンゴ園のオバちゃんに言ったと言えれば作ってくれるよ』と教えてくれた。会話の中で、東海道や中山道を歩いていることなどを話している中に、漬け物とお茶を振舞ってくれた。そして、その奥さん『昨日のご飯だけど、おにぎりを作ってあげるから待っていなさい』と言って奥に入り、間もなく、大きな『おにぎり』を作ってくれた。お礼を差し出したが、受け取って貰えず、『ご厚意に甘えることとした』。

今まで、東海道や中山道を歩いて来て、多くの方から親切や情けを頂いたが、こんな心尽くしの『恵み』を頂いたのは初めてであった。おかげでリュックは重たくなったが、気も心も軽く、ルンルン気分が晩秋の陽を浴びながら、田圃の畦で紙包みを開けると、ラップに包まれた昆布入りの海苔巻のおにぎりが出てきた。漬け物と箸も添えてあった。食べながら、リンゴ園の奥さんに感謝しつつ、この嬉しさを女房に電話すると、電話の向う側でビクビクし、恐縮していた。

後日、お礼にミカンをお送りした処、洋なしのフ・フランスが送られてきた。また、雪が解け、春が来たら、木曾路の見事な山並みと、人情厚い信州の人達との『ふれあい』を楽しみに、中山道の旅を再開したいと思えます。

城北自治会 加藤 仲男

## 今年度を振り返って

自治会の皆様のご協力をいただき、平成17年度の事業も無事終了することができました。心よりお礼申し上げます。5月の春季町民ソフトボール大会を数年ぶりに優勝することができました。若人が集まらず、年代は40歳から60歳代、それでも団結力と力を出し合い、必死にボールにくらいにつき、美酒を味わうことができました。

9月には町民ソフトバレー大会では、男子、女子共に準優勝となり、たいへん良い汗をかきました。何よりも今年度はケガをした人が一人もいなく、無事に終えることができました。本当にありがとうございました。

土肥道自治会では、子ども達の数が少なく、平成18年度より白梅子会の活動を一時休止することになり、本当に残念でなりません。今年度6年生が卒業すると、6人くらいの子供会になってしまいます。一日も早い子供会活動の再開を期待し、今年度の反省とします。

土肥道自治会 丸山 友吉

## 西自治会の悩み

3月、町民交通傷害保険を組長さんに集めてもらい、17年度の行事が終わりしました。

西自治会も少子高齢化が進み、子ども会の行事も少なく寂しくなりました。お年よりの家庭が多いので、組長が回っていると大変と聞いています。少しでも自治会の中で助け合いが出来ればと考えております。自治会活動は、地震対策や防犯と地震以外の防災など、向こう三軒両隣の精神で協力しあって行ければと思います。

最後に、1市3町の中でも真鶴町は自治会加入者が少なく、行政も一緒に加入促進を協力しています。一軒でも多く加入者が増し、明るく話合の出来る町にと願っています。

西自治会 橋本 昭弘

## 我が自治会

山ゆり自治会は、総面積390ヘクタール、真鶴町の52パーセントを締める広大な地域で、その中で会長以下役員8名組長（理事）14名世帯数209世帯で構成されています。4月の総会で事業計画をまとめスタートしました。防犯からはじまり地域内のパトロール（年間5回自動車で約1時間山ゆり自治会地域を廻り、不法投棄の確認をしました）今年5月からは毎月27日を町内パトロールとして、真鶴町・小田原警察・各自治会ごとに行いました。防災は9月の防災訓練に参加、6月は町内一斉清掃、町道・国道など道端の草刈をして、美化推進、歩行者の安全確保。夏には兒子神社の祭典、岩海岸夏祭りの協力・参加、体育はソフトボール・ソフトバレー、秋には運動会。全住民が年齢に関係なく誰でも参加し元氣良く和気藹々と、いい汗かいて楽しむことができました。これも地域住民が一致協力しての賜物ではないでしょうか。毎年同じことの繰り返しですが、この活動を通じて互いに顔をあわせることができ、声を掛け合い、あいさつをして助け合い、明るい真鶴地域づくりをして行きましよう。

山ゆり自治会 寺山 武

## 楽しい自治会

自治会長を引き受けて、間もなく4年目が終わります。私が担当する、自治会の加入世帯数は、336世帯で、役員12名隣組24組で活動しています。

自治会の仕事の大半は、行政関係の回覧物や広報誌等の配布及び募金集めなどの依頼、また、地域各団体の配布物や調査、地元の行事関係（運動会・納涼大会・お祭り・ソフトボール及びソフトバレー）の出席等で、それなりに忙しい日々です。会長になって忙しい割りに、自分たちが企画した活動が少なく、常に受身の活動であることが気になります。そこで自治会役員に相

話し、子供会共同体で餅つき体験学習の企画を立てました。自治会に関心を持つ人を増やそうと考え、人の輪が広がって行ったことが、参加者増加の要因であると思われました。また、自主防災組織、防犯活動に関心が無く、防犯・防犯は、行政や消防・警察の仕事と考えて、自身の問題として考えていないのが実情である。自治会としては、自主防災組織や防犯活動の手順方法との見直し安全・安心の住み良い地域づくりが重要です。地域活動とどの様に結び組むか、課題解決の手段・方法について考えようではありませんか！

城北自治会 関浦 勝美

## 今後の自治会展望

我々自治会では、連合会通常定例行事の他に納涼大会を行って来ました。丸山子供会と協力して、地域住民の親睦を深める目的で行ってきました。自治会費の還元の意味も含め、隣近所の輪（向こう三軒両となりの精神）を作り共同作業をすることにより、災害時の協力体制実習訓練も含めて実施してきました。これらの趣旨を理解してもらい、今後出来る限り実施して行ってもらいたいと思います。

今後の自治会運営について反省すべき点が二つあります。まず一つは、仕事との両立の難しさが最近特に感じられました。丸山自治会3役及び執行部が半数以上町外での仕事であり、平日昼間の会合には出席できないと言う大きな問題があった。2つ目には、自治会未加入家庭が増加、即ち退会者が増えてきている。規約上では、転居する時には退会できるとなっているのに遵守されていなかった。今後、災害時の自主防災組織の重要性も理解していただき、加入促進に努めていきたい。最後にありますが、来期は役員改選です。地域ボランティアとして、仕事と自治会活動の両立が出来る方の参加をお願いする次第です。

丸山自治会 飯塚 潔

## 伝統行事で地域の絆を！

岩中央自治会も、ご多分にもれず高齢化が進み、組長の引継ぎなどで苦労している組（高齢のため隣組を脱会したい）もあります。年間事業の中でも、体育関係行事においては深刻な状態であり、解決方法になるかどうか分りませんが、18年度より各隣組に体育専任者の選出をお願いすることにしました。

毎年、夏季防犯パトロールを組長さんにお願ひして実行していますが、更に安心安全な住みよいまちづくりを目指して、各自治会が交代で毎月27日（3月27日は岩中央自治会が当番）に警察官同行にて防犯パトロールを実施していますので、皆さんのご協力をお願いします。

少子化の影響を受け、昔からの伝統行事なども忘れられようとしている。今、子供たちに夢と希望が持てるよう、また、後世に伝承してもらおうよう、道祖神保存会を設立し、「どんど焼き」行事を継承するに際し、岩地区子供会・自治会・真鶴地区自治会に全面的な協力添えをお願いしました。地域に根付いた風習や伝統行事は、何時までも大切にしたいものです。

岩中央自治会 朝倉 正晴

## リーダーとしての苦悩

梅一輪一輪の暖かき、今年は寒さが厳しく、ようやく梅の花が咲き始め、春の足音が聞こえてくる今日この頃。月日のたつのは早いもの、あつと言う間に一年が走馬灯のごとく過ぎ去って行きます。

4月には総会が行なわれます。今年役員改選の年であり、私もそろそろ引退をと思ひ、その準備に取り組んでいけるが、中々思うように後任者が見つからず頭を痛めている次第です。

また、会員の増強や啓発・会の発展を強める活動等、色々と考え案しているが思うように実施できず、自分自身が情けなくなる思いです。

夢を追い共に願ひが頂点に達した時の喜びそれが私の人生の喜びだ！

城口自治会 青木 美喜男

## 「編集後記」

事務所のカーテンを開けると朝日が眩しく差し込んで来た。神棚に手を合わせ、来客用の応接テーブルに置かれた南天の小鉢に水をやる。葉っぱに溜まった水滴に朝日が反射してキラキラと光っている。

いつもと同じ、いつも通りの仕事が始まる。

さあ、今日も1日頑張るぞ、元気で働けることの喜びを、こうして毎日確認し、充実した1日が過ごせることを自分自身に誓う。自分らしく働き、自分らしく遊ぶ、朝日が反射した水滴の様に、いつも自分も輝いていたい。そして自分らしい生き方をしたい。

さあ、今日も1日頑張るぞ、未来（あした）に向かって。

さて、自治会連合会メンバーの一員に加えて頂いて6年が経ちました。この間、広報の任務を勤めさせていただいたものの、はたしてどの程度お役に立てたのか？自問自答している毎日です。

仕事はまだまだ現役、限られた時間の中での活動は、中途半端に終わってしまい、自分の思いとはかけ離れたものでした。いや、それでも自分の精一杯を尽くして来たつもりなのだが・・・

3月末をもって一応の任期満了を迎へ、バトンタッチの時期となりました。「世のため人のため」と簡単に言うけれど、仕事との両立はなかなか難しいものだ改めて認識させられた6年間でした。また別の形でお役に立てることがあるだろうか、その時はやはり中途半端にならない様にできるのか？

自分で結論を出すことなどできない。なぜなら、それは人が評価することだから！

城北自治会 岩本 克美